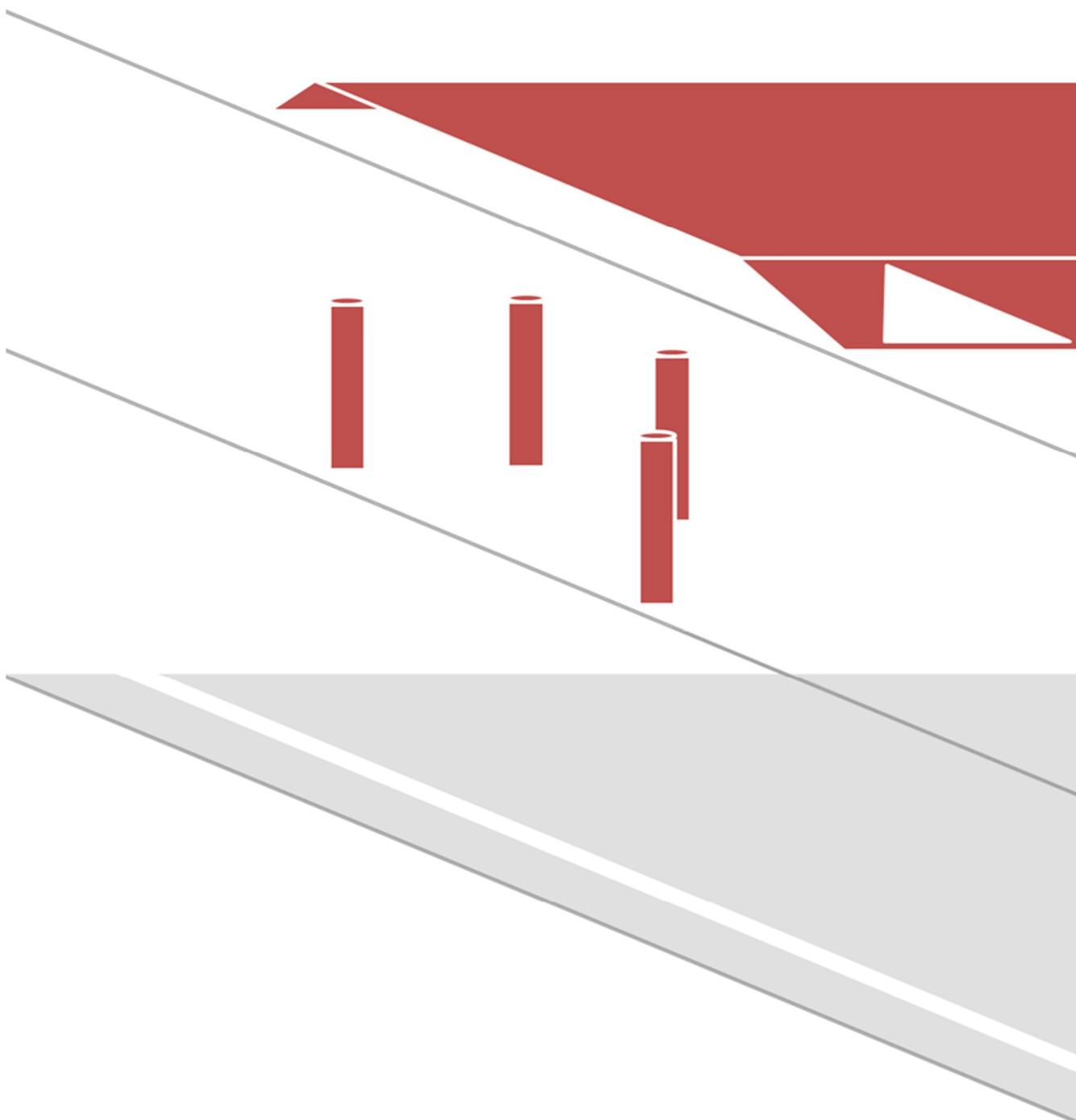


生活道路への物理的デバイス設置における 合意形成のための参考資料



目次

はじめに	1
合意形成事例における検討時の主な流れと工夫	2
合意形成事例	9
01.  抜け道利用による交通事故の多い地区で ワークショップによる合意形成によりハンプ等を設置 埼玉県朝霞市（東弁財地区）	13
02.  クルーズターミナル等の整備を契機として ワークショップによる合意形成によりハンプ等を設置 沖縄県那覇市（若狭小学校地区）	27
03.  小学校の校舎移転を契機として ワークショップによる合意形成により ライジングボラード等を設置 新潟県新潟市（日和山小学校地区）	43
04.  大型商業施設の建設を契機として 住民主催の協議会による合意形成により狭さを設置 千葉県船橋市（習志野台8丁目地区）	63
05.  先行整備した2地区の事例を活用した 合意形成により半年でハンプ等を設置 神奈川県横浜市（南区大岡小学校周辺地区）	79
06.  抜け道利用の多い通学路で セーフティコーンを使った社会実験を踏まえ狭さを設置 広島県福山市（新涯地区）	93
07.  抜け道利用の多い通学路で ハンプ設置体験などを経てスムーズ横断歩道を設置 高知県四万十市（中村小学校地区）	119
08.  抜け道利用の多い通学路で 自治会長をパイプ役にした合意形成によりハンプを設置 京都府舞鶴市（桃山町地区）	131
09.  江戸時代の村に由来する 21の区長をパイプ役にした合意形成によりハンプを設置 長野県岡谷市（銀座地区）	145
おわりに	159